

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/15 （3/8との比較） 今後の見通し （※4）	3/15 （3/8との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.72% （▲0.05）	83.60円 （+0.89%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された製造業売上高は市場予想を上回る一方で、中古住宅販売件数は市場予想を下回る結果。国債利回りは、米国国債利回りの動きにつれて低下。カナダドルは、原油価格が堅調推移する中、対円で上昇。	卸売売上高や小売売上高、CPI（消費者物価指数）などが発表予定。各種景気指標や原油価格、米国の金融政策などの動向を見極めながら、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.00% （▲0.20）	29.22円 （+1.65%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表された鉱工業生産は市場予想を下回る内容。一方、小売売上高は市場予想を上回る内容。政府が年金改革法案の5月末までの採決目標を堅持する姿勢を示す中、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	インフレ関連指標などが発表予定であるほか、中銀の金融政策決定会合も予定。19日のボルソナロ大統領とトランプ大統領の首脳会談も注目。債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.96% （▲0.04）	5.80円 （+1.77%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された鉱工業生産は市場予想を上回り、雇用関連統計は前月を上回る結果。USTR（米通商代表部）が、カナダとメキシコへの鉄鋼・アルミ関税の撤廃計画に言及する中、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	消費者物価指数などが発表予定。トランプ大統領が経済成長への自信を表明しており、米国の金融政策動向も注目される中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/15 （3/8との比較）	3/15 （3/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.98% （▲0.05）	78.98円 （+0.84%）	+2.3% 2018年3Q	1.50%	発表された企業景況感が前月比で低下し、消費者信頼感指数が前月比で悪化する内容。中国の鉱工業生産は17年ぶりの低い伸びとなる中、国債利回りは低下。豪ドルは対円で上昇。	雇用統計やPMI（購買担当者景気指数）製造業などが発表予定。景気先行きへの不透明感が台頭するものの、米国の慎重な金融政策姿勢が示されることを前提に、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.07% （+0.00）	76.32円 （+0.90%）	+2.6% 2018年3Q	1.75%	発表された食料品価格や住宅売上高が前回比で弱めとなり、製造業PMIは前回を上回る結果。国内の政治経済については大きな材料が見当たらない中、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	消費者信頼感指数や経常収支、GDP（国内総生産）などが発表予定。国内での重要な指標などは見当たらず、米国の慎重な金融政策姿勢が示されることを前提に、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.63% （+0.02）	13.07円 （+2.84%）	+1.7% 2018年4Q	0.75%	発表された消費者物価指数が市場予想よりやや強め、生産者物価指数が前回比で強めの結果。堅調な経済指標や底堅い推移となった原油価格などを受けてノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	金融政策決定会合があることからその結果には注目。世界的に主要な中銀が慎重な政策姿勢を示す流れの中で、ノルウェー中銀がハト派化するかどうかに注目。市場予想は利上げを予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/15 （3/8との比較）	3/15 （3/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.82% （+0.01）	7.75円 （+0.71%）	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された鉱物生産量は市場予想を上回り、製造業生産は市場予想を下回る内容。中銀の副総裁は、債務増加への懸念を表明。ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	CPIや小売売上高などが発表予定。国内に大きな注目材料はないものの、米国の金融政策の動向次第では債券・為替市場ともに動きの出る可能性にも注意。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.36% （▲0.20）	0.78円 （+0.75%）	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された貿易収支では、市場の赤字予想をくつがえして黒字化。内需の強さと輸出の低迷などを背景に格付けが据え置かれ、見通しが安定的とされる中、ルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	中銀の金融政策決定会合が予定。4月の中旬には選挙が予定されている中、市場では政策金利の据え置きが予想されており、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.95% （▲0.08）	1.62円 （+1.91%）	+6.6% 2018年4Q	6.25%	発表されたCPIと貿易収支は市場予想を上回り、鉱工業生産は市場予想を下回る内容。世論調査では、総選挙で与党連合が過半数獲得するとの予想が示される中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは低下。	重要視される経済指標が見当たらない中、総選挙に関する動きが注目される環境。原油価格や米国金融政策をめぐる動向を見ながら、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

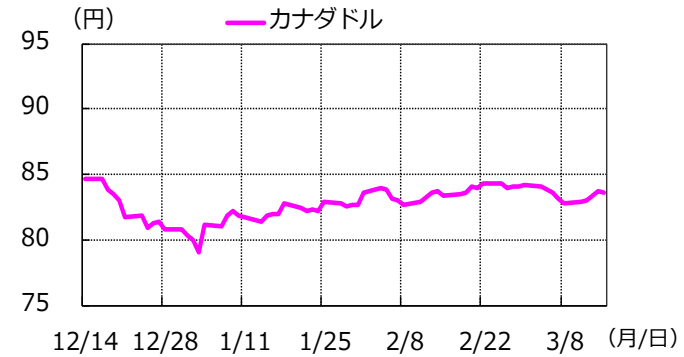
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

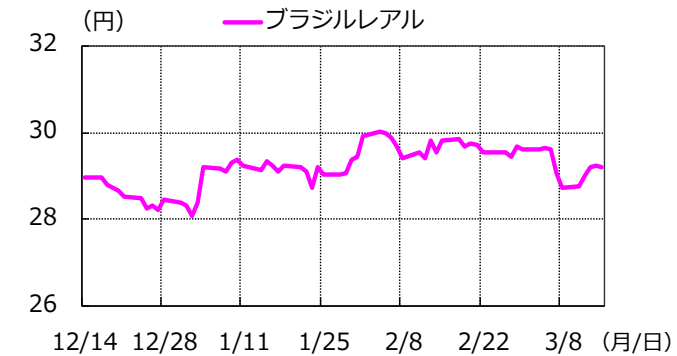
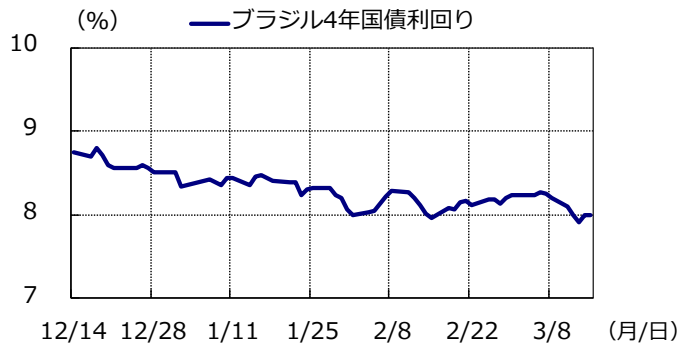
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/14～2019/3/15

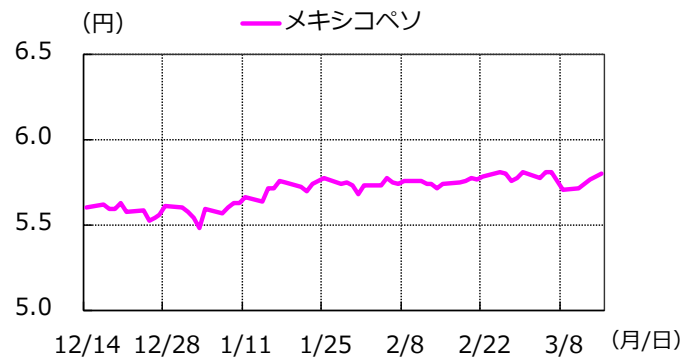
カナダ



ブラジル



メキシコ

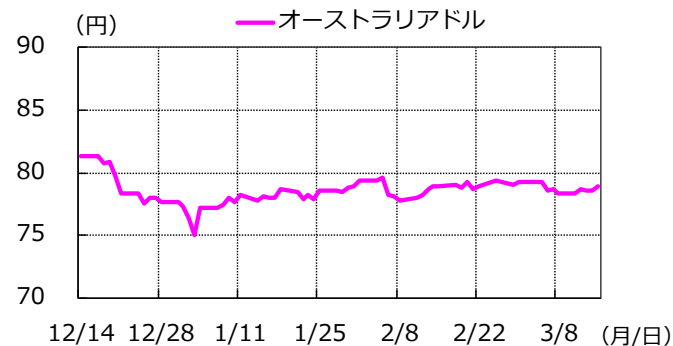
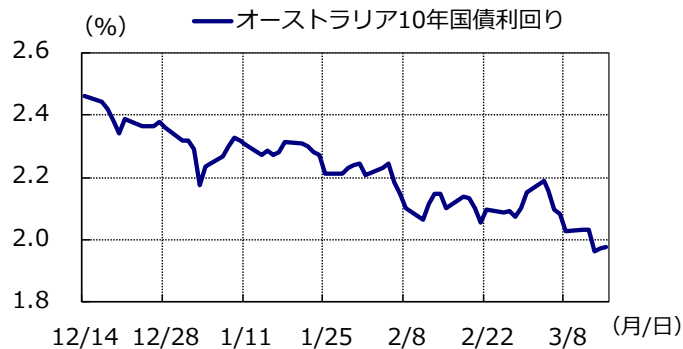


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

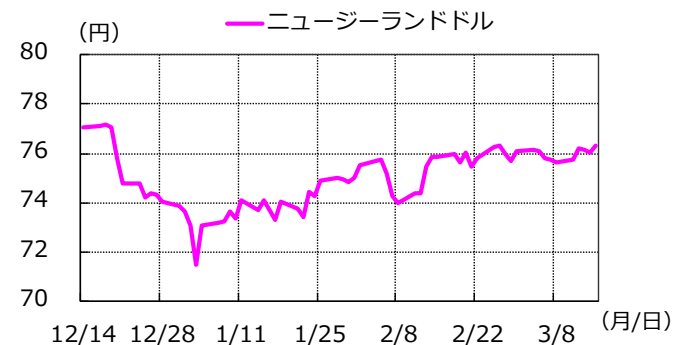
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/14～2019/3/15

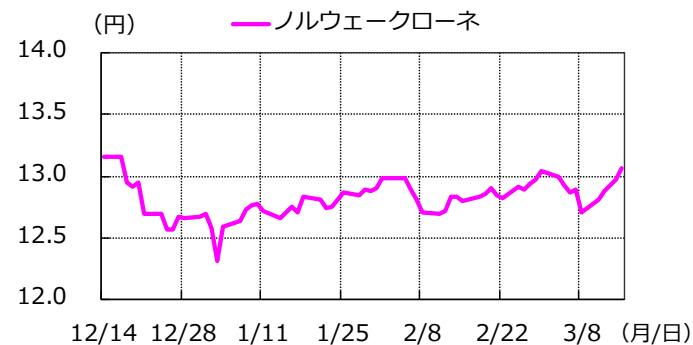
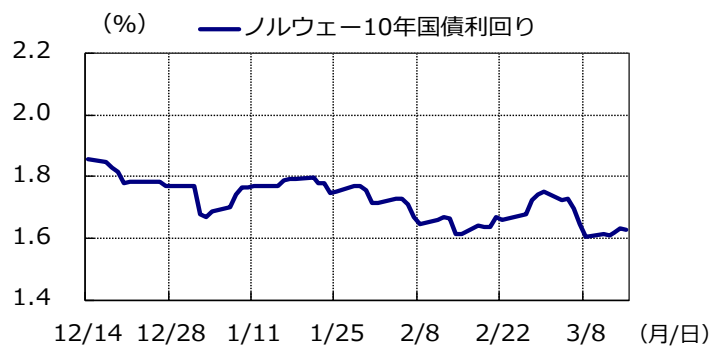
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

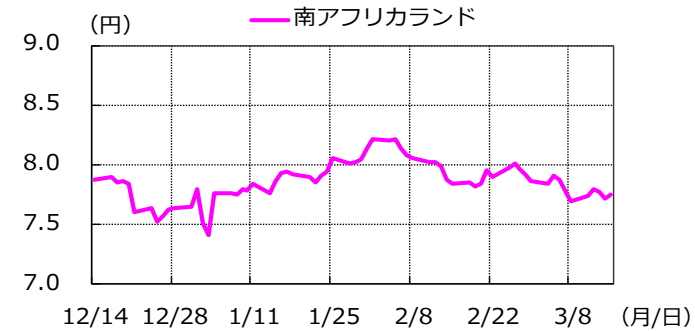


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

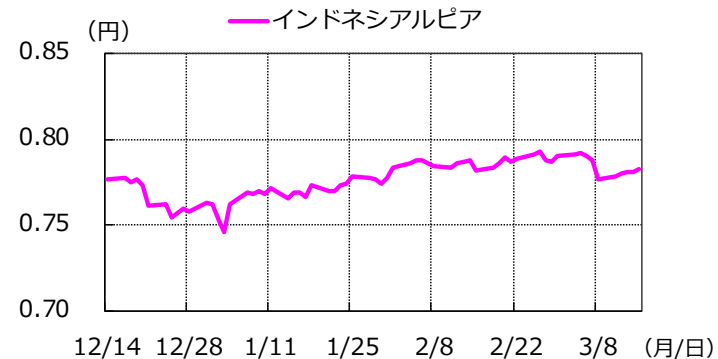
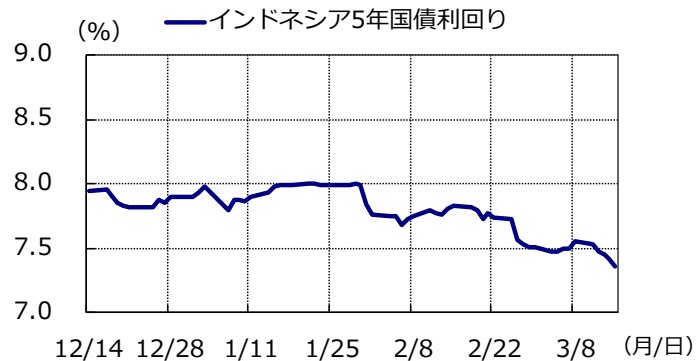
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/12/14～2019/3/15

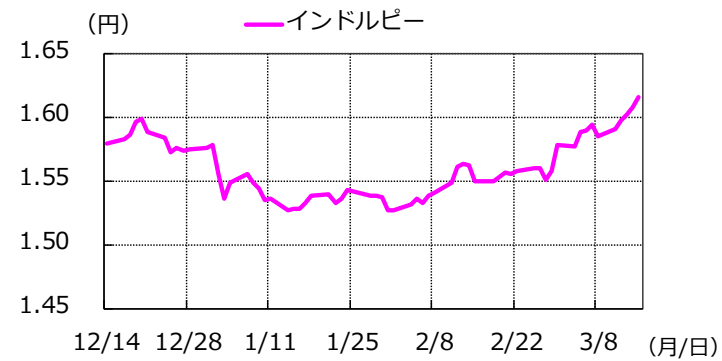
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。